

島根 教弘友の会 報

Vol.125

2023.11

発行兼
編集

(公財)日本教育公務員弘済会島根支部・(株)島根教弘
松江市殿町33 TEL(0852)24-1059・24-7750 FAX(0852)31-6089
E-mail:simane@nikkyoko.or.jp HP:https://nikkyoko-shimane.jp



「津軽半島龍飛崎にて ～みんなで青森ポーズ～」
(島根教弘友の会「研修と親睦の旅」9月20日)

目次

- 巻頭言「自分色の生きがいを求めて」……………2
- 友の会会員の広場「歌って 笑って ときめいて♥ ～あの頃歌ったフォークソング、
グループサウンズ～ さあ!一緒に歌いましょう!!」……………3
- 島根教弘友の会「研修と親睦の旅」……………4,5
- 教弘保険K型・教弘フルガード……………6



自分色の生きがいを求めて

友の会江津地区長

田中 康夫

男性の平均寿命は81歳、後期高齢者医療制度対象は75歳～、運転免許更新時の高齢者講習対象は70歳～…。退職当時は遠い話と思っていた年齢が、先日の誕生日でより切実に感じるようになりました。

今年度、新しく地区長を引き受けることになりました。その途端の原稿担当…。少し戸惑いましたが、折角なので私が今生きがいに感じていることを紹介し、これからの生き方を考える機会になればと思い直しました。

退職後しばらくは現職の延長のような生活をしていましたが、今はどちらかといえば趣味の活動に忙しい毎日を送っており、これが今の私の生きがいになっています。

その一つ目の活動は音楽です。現在2つのバンドに参加していて、別々の仲間と不定期ですが活動しています。一つは、初めて校長として赴任した邑南町で、保護者や職員の方と結成したグループ「Fの会」(難関コード『F』を克服しよう!と命名)です。今年で結成22年目となりました。地域の公民館やお祭りのイベントを中心に、年2～3回出演しています。最近は全員揃う機会は少なくなりましたが、参加できる人が出演して会の名前を絶やさないと頑張っています。

もう一つは、大学時代に共に活動していた友人が結成した「勾玉オールサウンズ」です。このバンドには数年前からメンバーが不在の時に応援として加わってきましたが、最近は結構忙しくなりました。今年9月に県民会館での出演依頼があり、演奏したところですが、特に今回はエレキギターも担当することになり、中学以来の挑戦でしたが、ぎこちない動きの指に「リハビリ、リハビリ」と言い聞かせながら何とか無事演奏できました。

両グループとも気心の知れた仲間と、フォークソングを中心に、ギターと歌で演奏するのですが、この年でも人前での演奏や歌を歌う時の緊張感と爽快感は、何ともいえない喜びです。さらに、お客さんと一緒に懐かしい青春時代を思い出しながら時間を過ごせるのも最高です。これからも、少しでも長く続けられるようにと願っています。



2つ目の活動は、「文豪を読む会」という朗読の活動です。この会は市民創作劇出演者と高校時代の部活動顧問の先生が結成した会で、最近春・秋の年2回の発表が定着し、毎回多くのお客さんに来場いただけるようになってきました。中でも11月にお寺の本堂で紅葉をバックに演じる公演は、秋の定例となっています。もともと演劇経験のある人達の会ですので、動きの入った朗読劇で楽しんでもらえるようにと頑張っています。

このように、今は自分なりに満足し充実した日々の中で、生きがいを感じながら過ごしていますが、どれも演奏したり声を出したりと、エネルギーが必要なものばかりです。これから歳を重ねるにつれ、指が動かない、声が出ないなど、体の衰えを感じる日が来るだろうと思うと不安になります。

来年はいよいよ70代。ますます残りの時間が短くなり、「静かにゆ～るく過ごせる趣味も探さなければ…」と思うことも増えてきました。今の趣味を大事にしながら、年齢や体力にも見合った「自分色の生きがい」を見つける自分探しの旅に、そろそろ出かけてみようかなと思う今日この頃です。



さあ！一緒に歌いましょう！！

友の会松江地区

三代 喜 政



コロナが流行る前には、年間10回以上の演奏オファーを受けていた「勾玉オールドサウンズ」(結成15年)。懐かしのフォークソングを中心に演奏しています。

学生時代、バンド活動をしていたことが退職後の生活に、こんな形で活かされるとは思いもよりませんでした。自分達にとって楽しい活動が、周囲の人たちにも楽しんでいただける。何と幸せなことでしょうか。

「歌って！笑って！ときめいて！」をグループの合言葉に、「あれから40年！」ではありませんが、ほんのひとつき、青春時代にかえて楽しんでいただけることを目指し、演奏やMCに工夫を凝らしてきました。勾玉オールドサウンズのメンバーには、現在5名の現職教員・退職教員が入っています。メンバーのほとんどが、退職後の楽しみとして活動しています。



私たちの活動が口コミで広がっていき、公民館や地域のイベントなど様々なところから声をかけていただきました。イベントホール・公民館はもちろん、神社、お寺、福祉施設、令和5年9月には、とうとう県民会館中ホールで演奏する機会をいただきました。ほぼ満席となった、1時間30分の単独コンサートは、私たちにとっても大きなイベントでした。会場は笑顔と一緒に歌を口ずさむ声で一杯になりました。終了後、「楽しかったです」「若いころに戻りました」などのメールをたくさんいただきました。

私たちの取り組みの中に、東日本大震災支援

チャリティーコンサートがあります。震災後10年に渡り、毎年1月に開催しておりました。たくさんの方々にご来場いただき、多額の募金を毎年、日赤にお送りしました。しかし、コロナ禍によりコンサートも中止が続き、寂しい思いばかり募りました。今年度からコロナが5類に扱われるようになり、少しずつイベントへの出演依頼も増えてきました。

演奏会場へ行く度に感じることは、それぞれの場が私にとっても人生の学びの場になっているということです。準備段階から終了後の後片付けまで、いろいろな人と知り合いになり、会話を交わすことが出来ます。お世話をしていただく方のご苦勞や、配慮について、いつも感謝の気持ちで一杯になります。そんな人たちのためにも、常に全力で演奏をしなげればと気持ちを引き締めて取り組んでいます。

私たちの曲は、1960～1970年代にヒットした曲を中心にお届けしています。

「勾玉オールドサウンズ」も結成15年を過ぎ、私も含めメンバーも相応に歳を重ねてきました。体調の悪いとき、都合がつかないとき、そんな時は遠慮なくイベント出演も欠席してもらいます。参加できる人が参加し、まず演奏する私たちがイベントを楽しませてもらう気持ちで参加しています。普段の生活とは一味違うステージの雰囲気私たちが自身楽しんでいきます。これからも無理のないところで、アバウトに演奏活動を続けていきたいと思えます。

どこかのイベントでお会いできることを楽しみにしております。



島根教弘友の会「研修と親睦の旅」(9月19日～9月22日)

本年度は、「北海道新幹線で青函トンネルに行く!函館山夜景観賞と龍飛崎・登別温泉4日間の旅」に24名のご参加をいただきました。



青い海、青い空の「地球岬」にて(9月22日)

行ってよかった団体旅行

友の会益田地区 原 美代子

初めての場所、初めてのもの、初めての人との出会いには、いつも心躍るものがあります。今回の旅は、私にとって正に初めてのことに尽くし、わくわくいっぱいの旅でした。

旅の始まりは萩・石見空港。羽田経由で青森空港を目指しました。青森空港のロビーで出雲空港を出発された東部の皆さんと初顔合わせをし、津軽を巡るバスの旅が始まりました。バスガイドさんの柔らかな南部訛りに、「ああ、青森に来た～」と実感。そのガイドさん直伝の“青森を体で表すポーズ”が面白く、記念写真が一気に盛り上がりました。

2日目の「龍飛崎」は「風の岬」と呼ばれるだけあって、気を抜くと2、3歩よろめいてしまう程の強風でしたが、視界も開けて北海道をま近に見ることができました。「龍飛崎」と言えば「津軽海峡冬景色」。歌碑の前では高らかに流れる石川さゆりの歌声に包まれ、バスに戻ってからはみんなで大合唱し、どっぷりと津軽海峡の世界に浸りました。

「青函トンネル入口広場」は、これまで車中から紹介するだけで、ガイドさんも初めて訪れた

という場所。それを聞いただけでもレア体験だとわくわくしたのですが、青函トンネル記念館で、構想を含め実に42年に渡った大工事の記録映像や展示物を観た後だったことで、さらに特別な思いが加わりました。トンネル内からのゴーというだんだん大きくなる音と共に、新幹線が出て来た時に、本物の撮り鉄さん押し退けんばかりに夢中で写真を撮ったこと、そして新幹線の車窓から広場が一瞬見えて、みんなで歓声を上げたことは、忘れられない思い出です。

3日目は生憎の雨混じりの天候。それでも立待岬に咲く、初めて見るハマナスの花の鮮やかな色に見入ったり、屋根瓦が一軒もなく、金属を張った平らな屋根が続く光景に、雪国の厳しい生活を垣間見たり、ガイドさんの豊富な知識に感心したりしながら車窓から見える景色を楽しみました。その日の宿は期待の登別温泉。大きな赤鬼のモニュメントに出迎えられた頃から、バスの中にまで漂ってきた硫黄の臭いに、否が応でも期待が高まります。夕食のバイキングでは、まぐろ、ほたて、いくらを始め沢山の海鮮の中に「待ってました」、大皿に山盛りの蟹を発見!夫は蟹ばさみで指の皮がむけるほど蟹を堪能し、私は山盛りに盛ったいくら丼に箸が止まらなくなってしまいました。夕食後は待ちに待った温泉へ。日本の泉質10種類の内5種類が引か

れていると言う大浴場で、豊かな湯に身を浸しながら、旅の疲れを取りました。

澄み切った青空を丸く弧を描いた水平線がくっきりと切り取ったような鮮やかな絶景の地球岬。修学旅行の子供たちでゴった返した中에서도しっかりと目に焼き付けた函館山からの夜景。朝市のおばあちゃんがその場で包丁で削って食べさせてくれた、生の白いトウモロコシがびっくりするほど甘かったこと。そんな沢山の思い出ができた、初めての団体旅行は、大満足の内に幕を閉じました。

石川さゆり、山本コータロー そしてドリフの「いい湯だな」の旅

友の会安来地区 古志野 誠

退職して5年、現職の頃には、現在の働き方改革に逆行する超過勤務月100時間オーバーは当たり前、土曜・日曜は朝5時前に出発で山陽方面、四国方面に大会引率、夜の10時に帰還は度々のこと。退職後は妻への贖罪の意味もあり、年に1、2度は一緒に旅行に出掛けている。今年6月に黒部アルペンルートから飛騨高山へ、その後この教弘友の会の青森・函館の旅行案内があり、早速に参加した次第である。

1日目は青森へ。出雲からの乗り継ぎのため羽田へ。その際2時間程度待ち時間があったので、初めて羽田空港展望台に行ってみた。出雲や米子の空港では1、2機の飛行機しか見たことがなかったが、羽田では何十という飛行機が待機、そしてタッチダウンを続け、展望台にいる子供たちが飛行機が離陸するたびに歓声を上げている。「孫たちにも見せてやりたいなあ。」などとおじじの思いがあふれる。夕方、青森のホテルに着くとロビーで「ねぶた」がお出迎え。今回のコースの中には「ねぶた」を見る機会がなかったため感激ひとしおであった。

2日目の「青函トンネル記念館」では、先人たちの不屈の精神と工夫、日本の高い技術力。そして、尊い犠牲の上に今日の我々の生活が成り立っていることを実感する。帰ったら健さんの映画「海峡」をもう一度見なくてはと強く思う。そして、風の岬「龍飛崎」へ、当然ながら「ごらんあれが竜飛岬 北のはずれと…」石川さゆりの「津軽海峡冬景色」が自然と口からついて出る。夜は函館の100万ドルの夜景をバックに若者宜しく夫婦二人の映え写真。



「青函トンネル」の青森県側で
撮り鉄さんのように夢中で新幹線を撮影

3日目は、函館の立待岬、最終日も地球岬と毎日「岬」を見学し、当然その度に山本コータローの「岬めぐり」を口ずさんだのは言うまでもない。

特に3日目の登別温泉の宿は、妻も私も大満足の素晴らしい温泉宿でありました。さすがにドリフの「いい湯だな」の歌詞に出てくるだけのことにはあるなあと納得しました。勿論ここでも「ババンババン バン バン ハビバノンノン…ここは北国 登別の湯」と湯元地獄谷の見える露天風呂で他の客の迷惑を顧みず一節うなりました。

北海道へは、これまでスキーで札幌周辺、富良野、ニセコなど何度か訪れましたが、函館・室蘭・登別などの「道南エリア」へは訪れたことがなく、テレビや映画でよく見かける「函館の町並み」や歴史の舞台「五稜郭」、また、「洞爺湖」や「昭和神山」、岬から見える水平線やかすかにかすむ本州や北海道の半島の数々などの雄大なロケーション。函館の湯の川、登別の温泉の湯、そして、宿でたらふく食べた「いくらや蟹」など全身で北海道を味わい尽くした3泊4日の旅でした。



「ごらんあれが竜飛岬 北のはずれと…」
「津軽海峡冬景色」の歌碑

正会員資格のご継続をお勧めします

新教弘保険(集団契約特約付勤労保険)の満期は65歳です。満期までぜひご継続ください。また、満期到来時(満65歳)には、新教弘保険K型(集団契約特約付勤労保険)にご加入いただき、正会員資格のご継続をお勧めします。

新教弘保険K型ご加入の特典

(集団契約特約付勤労保険)

○ 健康状態の如何にかかわらず、既加入の死亡保健金額の範囲内で加入できます。

○ ご加入後、5年毎の更新で80歳まで保障を継続できます。

(ただし、払込み保険料は5年毎に更新、満期保険金はありません。)

※手続きの際、新教弘保険K型(集団契約特約付勤労保険)以外は「教弘友の会正会員資格」を失うこととなります。引き続き正会員資格を継続される場合は、必ずご加入される保険が、「教弘友の会正会員を続けられる保険」かどうかをご確認ください。

※満期日は、65歳の誕生日ではありません。契約日によって設定されていますので、保険証券でご確認ください。

※満期を迎えられる方には、事前に共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命保険株式会社からのご案内や担当LC(ライフプラン・コンサルタント)がご連絡をさせていただきます。詳しくは、ジブラルタ生命のLCにお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

お問い合わせ先

ジブラルタ生命保険(株)

- | | |
|---|---|
| ○ ジブラルタ生命保険(株) 教職員専用ダイヤル(通話料無料) 0120-37-9419 | ○ 出雲営業所 〒693-0011 出雲市大津町 1127-27 0853-21-2015 |
| ○ 松江支社 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571 | ○ 浜田営業所 〒697-0026 浜田市田町 113-2 0855-22-1703 |
| ○ 松江第一営業所 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571 | ○ 益田営業所 〒698-0026 益田市あけぼの本店 9-4 0856-31-1510 |
| ○ 松江第二営業所 〒690-0007 松江市御手船場町字伊勢宮 553-6 0852-59-5571 | |

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

日常生活のケガトラブルに。
教職員退職者やご家族の方もお得な団体割引でご加入いただけます。

団体総合生活保険(フルガード)

2023年8月～2024年7月加入のご案内

教弘フルガード

(団体総合生活保険)
団体割引・損害率による割引あわせて

約 **37%** 割引

※天災危険補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります。

ご自身のケガ [傷害補償]



**O-157などの
特定感染症の補償**
＜特定感染症危険補償特約＞
特定感染症を発病した場合に、後遺障害・入院・通院の各保険金をお支払いします。

- 特定感染症とは**
- O-157
 - SARS
 - 結核
 - エボラ出血熱
- ※1 本特約は全件付帯です。
※2 指定感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する法律(感染症法)」に規定する一類感染症、二類感染症、三類感染症、または指定感染症*をいいます。

相手への補償 [個人賠償責任補償]



持ち物の補償 [携行品損害]



費用の補償 [救護者費用等]



自動更新 2023年8月1日始期
2023年8月1日午後4時～
2024年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間
加入依頼日の属する月の
翌月1日午前0時～2024年8月1日午後4時

募集期間
2023年6月1日(木)～2024年6月20日(木)

加入者資格 公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1.～5.の退職者

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

会員のご家族の方も教弘フルガードにお得な団体割引適用にてご加入いただけます!

教弘フルガードの被保険者になれるご家族の範囲

1. ご加入者の配偶者
2. ご加入者の子、親、兄弟
3. ご加入者と「同居している」親族(※)

(※) 親族とは加入者の6親等以内の血族または3親等以内の姻族

ホームページから
資料請求いただいた方へ
もれなく粗品をプレゼント
しています →

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikyoko.or.jp



このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款により異なりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2023年2月作成 募集文書番号22T-100134